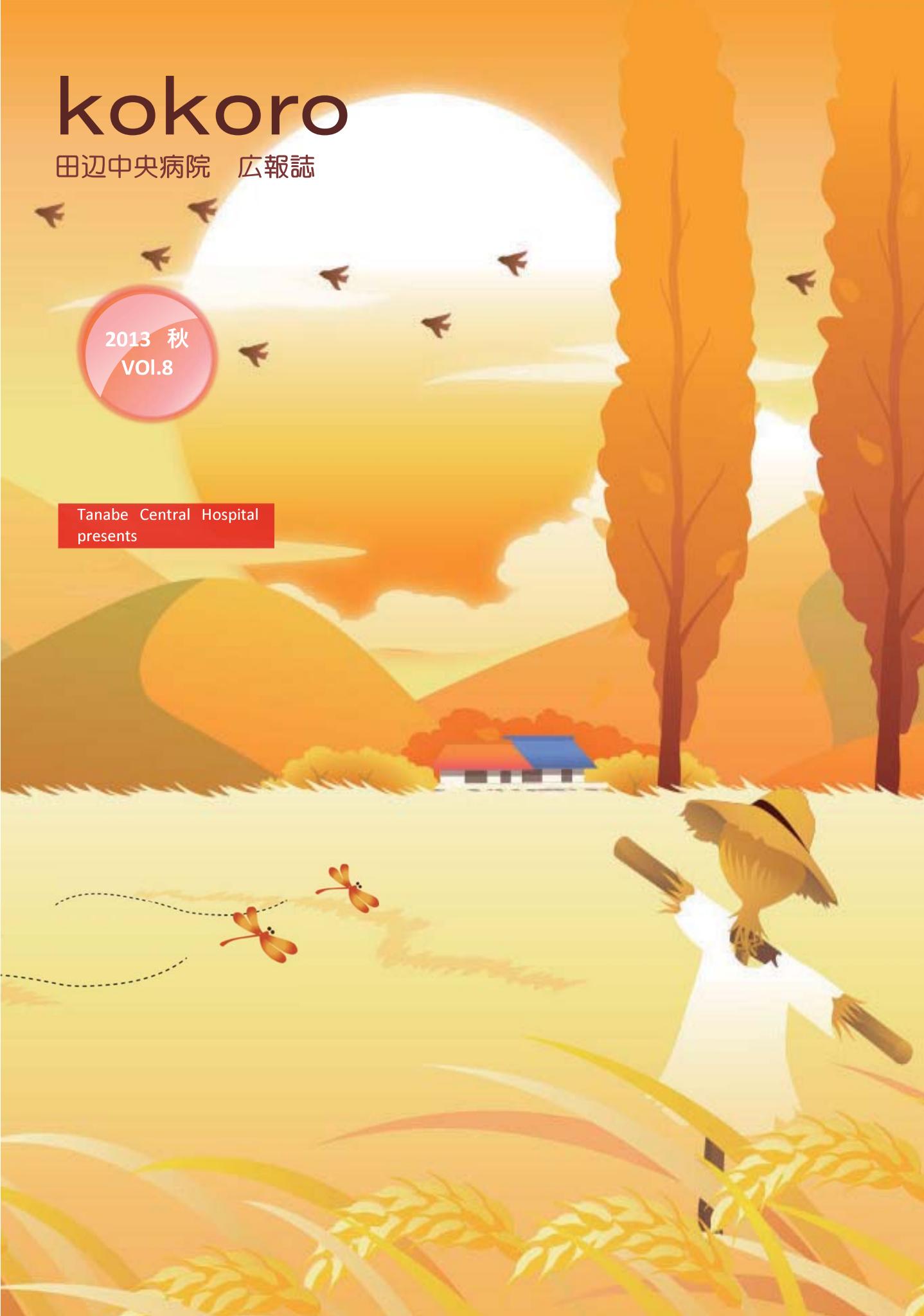


# kokoro

田辺中央病院 広報誌

2013 秋  
Vol.8

Tanabe Central Hospital  
presents



## もくじ-contents

- 病棟を改装しました ····· P3  
病棟紹介 ····· P4・5

### 一般病棟・療養病棟

- 医療安全活動 ····· P6・7

着任のあいさつ 木村副看護部長

### 基本理念

私たちは、『安心・信頼・誠実・尊厳・思いやり』の心を大切にし、患者さま本位の病院として、地域医療に貢献できる医療機関を目指します。

### ～基本方針～

- ①患者さまの権利、プライバシーを尊重します。
- ②安心と満足のいく良質な医療の提供を目指します。
- ③地域とともに歩み、地域医療に貢献します。
- ④医療、介護、福祉の連携強化に努めます。
- ⑤病院とともに成長できる働きがいのある職場と風土を育んでいきます。

# 病棟を改装しました

2013  
October  
kokoro



ナースステーション



病棟廊下



病室

平成25年5月から7月にかけて病棟の改装工事を行いました。 病室、廊下、ナースステーションなど、より明るく清潔感のある雰囲気になりました。

工事期間中、患者さま並びに関係者の皆さま方に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げるとともに、今後も変わらぬご協力のほどよろしくお願い致します。



# 病棟紹介

## 療養病棟



パワーあふれるスタッフで元気に頑張ってます!



4階病棟は、医療療養病棟です。看護スタッフ21名（看護師・看護補助者）で患者様のケアを行っています。終日ベッド上の生活を余儀なくされている患者様が多いですが、最近では意思疎通ができ、制限はありますが活動可能な患者様も多く入院されています。

医療的な内容では、CVポートや経管栄養等の管理、長期療養に関連し肺炎や感染症を合併した場合の治療・処置、また、ご自身で痰が出せない場合の吸引処置等、スタッフの多くはベッドサイドケアが中心となっています。清潔ケアは、毎日入浴介助を行い、患者様にとっては1週間に1回ではありますが、ゆったりとお湯に浸かり楽しんでいただいている。また、褥瘡のある患者様へのケアは自信を持って取り組んでいます。

現在、リハビリ対象の患者様が半数以上おられ、生活の質を維持するための取り組みを精力的に行ってています。最近になり、患者様の気分転換と生活リハビリの効果を期待し、病棟内のレクリエーションを行っています。看護補助者の提案ですが、日頃見たことのない患者様の素敵なお顔が多く、私たちも嬉しくなります。

入浴介助のスタイルで失礼します。



## 一般病棟



3階病棟は、内科・外科・整形外科混合の一般病棟です。整形外科の金本先生が来られてからは、人工膝関節や人工股関節の置換術が多く行われています。手術患者様は、ほとんどの方がまず3階病棟へ入院して頂くこととなります。

5階病棟では、亜急性期病床を設けており、急性期後や手術後の患者様に対し、主にリハビリテーションを中心とした治療を行っています。

各科の急性期治療を終えた段階の患者様の日常生活の援助、ひとり一人の症状に応じた看護を提供し、思いやりの心を大切にしながら、安全な入院生活が送れるようスタッフ一同頑張っています。

### 看護部の理念

わたしたちは、  
生命の尊さと、ひとり一人の意思を尊重し、  
思いやりのある看護を目指します

### 基本方針

～1～  
社会・医療の動向に対応し、より良い看護が提供できるよう努力いたします。

～2～  
患者ひとり一人のニーズに対応し、自立に向けた支援をいたします。

～3～  
地域医療・福祉機関との連携を図り、地域の皆さんから信頼が得られるよう努力いたします。

### 職員紹介



本年4月に入職しました看護師6年目の岡直也です。現在、手術室で先輩の指導を受け、患者様が安心して手術が受けられるように努力しています。手術室業務は、多くの場面で安全を重視し取り組んでいますが、チームワーク良く、そして、いつも笑顔を忘れず一生懸命頑張っています。

看護師 岡直也

# Medical

## ■ 医療安全管理委員会

毎月、報告を受けたインシデント事例を整理し、構成員で共有しています。事例の内容によっては、概要をまとめ委員会で検討し、院内の体制を整備し再発防止に取り組んでいます。また、マニュアルの改定にも力を入れています。



## ■ 医療安全研修会

これまで年間計画で研修会を行っていましたが、今年度はさらに力を入れようと考えています。まずは、5月に基本的な安全管理の考え方について、2回に分けて研修会を開催しました。日頃から患者の安全に繋げられるよう努力していきたいです。

# 医療安全活動 ～ Medical safety ～

## ■ 情報共有

※1

インシデント報告の状況や他施設を含めた警鐘事例など、院内で共有すべき情報を【ヒューマンエラー防ぎ隊だより】として6月から毎月発行しています。

第1号は、インシデント報告の概要、薬剤に関する事例から周知事項の確認、そして想定外の状況が発生した時など、相手が適切な判断ができるための情報伝達のポイント『S BAR』について掲載しました。実際に活用できるようすすめています。

8月には院内ネットワークが稼働しますので、今よりさらにタイムリーな情報発信ができるものと考えています。ホームページにも随時掲載できればと思っています。

## ■ 『ヒューマンエラー防ぎ隊』 ‘安全推進担当者によるチーム活動’

7月末に初会合を行い、隊員の役割や具体的な活動内容等を確認したところです。まだまだこれからですが、患者の安全を真剣に考え、何か変化を起こせそうな予感がしています。

※1 事故に至る可能性があった事態で、実際には事故にまで至らなかつた事例のこと

## 副看護部長 着任のご挨拶

本年、4月1日付けで田辺中央病院に着任いたしました、副看護部長の木村康子と申します。これまで国立病院（機構）で永年勤務しておりましたが、この度、ご縁があり田辺中央病院で勤務することとなりました。

現在、医療療養病棟の看護管理者と、院内教育・医療安全管理者としての業務を担当しています。

看護部では今年度、看護部の目標と共に各自の目標を一覧にして病棟内に掲示しました。他のメンバーがどのような目標をもって業務にのぞんでいるかという情報が、各人のモチベーションを高めることに繋がるのではないかとの思いからです。

私の役割は、看護師ひとり一人が、自己の目標を見失うことなく楽しく仕事ができること、そして、患者・ご家族へのケアが充実するようサポートしていくことと考えています。その結果として看護のやりがいや充実感が感じられるような、成熟した看護師と看護部組織を想い描いています。

田辺中央の職員全員が一体となり、チームワーク良くさまざまな問題や取り組みに真剣に向き合える組織となり、さらに地域の皆さんから信頼される病院を目指していきたいと考えております。今後ともご指導・ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



副看護部長 木村 康子

医療療養病棟 看護管理者  
院内教育・医療安全管理者

## PSA : Patient Safety Action 患者の安全を守るために医療関係者の共同行動

2001年（平成13年）から「患者の安全を守るために医療関係者の共同行動（PSA）」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取組みの推進を図り、これらの取組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と設定されました。また、同年を「患者安全推進年」と位置付け、各関係者との共同行動として、総合的な医療安全対策を推進することになりました。これらの経過から「患者の安全を守るために10か条」が制定され、各医療機関、各種団体等で、安全行動を強化するための取り組みが積極的に行われるようになりました。当院でも医療安全推進週間にあわせ研修会を企画しています。

### － 9つの行動目標 －

安全な手術-WHO指針の実践  
危険薬の誤投与防止  
周術期肺塞栓症の予防  
危険手技の安全な実施  
医療関連感染症の防止

医療機器の安全な操作と管理  
急変時の迅速対応  
事例要因分析から改善へ  
患者・市民の医療参加

欧米で、医療行為に関連した傷害（有害事象）を低減するために、多数の団体の協力により、「10万人の命を救え」キャンペーンが展開されました。米国では、急性期病床数の78%にあたる医療機関が自主的に参加し、改善への取り組みを行った結果、18ヶ月で入院中の死亡数を大幅に減らすことができたという報告がされました。日本においても、避けられるであろう医療関連死を低減するために、医療者は職種、立場の壁を超えて、各種団体が総力をあげ、医療事故防止に取り組むべきであると、医療安全全国共同行動（“いのちをまもるパートナーズ”）がキックオフされました。2008年（平成20年）5月のことです。

具体的には、8つの目標を設定し、推奨する予防策や各施設での取り組みが紹介されるなど情報がいっぱいです。また各種セミナーも多数開催されています。現在、「安全な手術-WHO指針の実践」が加わり9項目となっています。当院では、電子化がまだまで、確認行動はすべて人によるものです。まず患者さまが来院したときの氏名の確認をきちんと行うよう、共同行動のポスターを使用し、患者さまにもご協力を頂くよう取り組みを始めました。

1. 根付かせよう安全文化 みんなの努力と活かすシステム
2. 安全高める患者の参加 対話を深める互いの理解
3. 共有しよう 私の経験 活用しよう あなたの教訓
4. 規則と手順 決めて 守って 見直して
5. 部門の壁を乗り越えて 意見かわせる 職場をつくろう
6. 先の危険を考えて 要点おさえて しっかり確認
7. 自分自身の健康管理 医療人の第一歩
8. 事故予防 技術と工夫を取り入れて
9. 患者と薬を再確認 用法・用量 気をつけて
10. 整えよう療養環境 つくりあげよう作業環境

